

# 図画工作科学習指導案

指導者 日比野 卓也

- 1 日時・場所 令和元年 9月
- 2 学年・組 4年
- 3 「学習の方向性」から題材へ

「学習の方向性」

身近にある作品などのよさや面白さを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げる  
B鑑賞（1）

子どもの姿

- どの児童も図画工作科に対してとても前向きな姿勢で取り組むことができる。
- 立体に表すことには、身近材料などを効果的に使い、想像力豊かに表現する児童が多いが、風景画などの絵画作品に対して苦手意識をもつ児童が多い。
- 表現していく中で、より美しくよりおもしろく表現していこうとする思いはあるが、新しい方法を考えたり、つくりかえたりすることが難しい児童が多い。
- 自他の作品を認め、よいところを自分の作品に生かそうとすることに抵抗をもつ児童が多い。

教師の願い

- 題材との出会わせ方を工夫し、表現主題をしつかりもち、主体的に活動し続ける意欲をもたせたい。
- ある事（もの）から想像を広げ、表現活動をし続けることのよさを感じ取らせたい。
- いろいろな児童の作品をみて、そのよさを感じ、自分の作品に生かしていくことのよさを味あわせたい。
- 表現や作品にじっくりと対峙し、自分なりのこだわりをもって造形活動に取り組んでほしい。
- 表現の方法にはたくさんあることを感じ取らせたい。

題材名

## ようこそ！ 大岡小おもしろ美術館

～自分が発見した大岡小学校のおもしろい形や色をカメラで撮ってしょうかいしよう～

B鑑賞（1）ア

題材目標

- デジタルカメラ（ipad）の適切な使い方を習得し、カメラのフレームで切り取った面白い形や色を主体的に見付け、撮影し、伝えることを楽しむ。

〔題材について〕

本題材は、大岡小学校の中にある面白いと感じるものをipadを使って写真を撮り、それらを鑑賞し合い、互いに面白さを伝えあう活動である。自分が見て感じたことをクラスの友達と交流することで、普段自分たちが生活している大岡小学校のいろいろなものから面白さを感じ取り、「今まで気が付かなかった」「よく見てみると面白い形をしているな」など、造形的な見方・考え方を広げ、それを働かせる経験をもとに、今後迎える大岡小学校の高学年として、より学校に対する気持ちを再確認できるきっかけ

になればと思う。

〔「学習の方向性」にかかわる育む資質・能力と本題材との関連〕

本題材の「学習の方向性」は「身近にある作品などのよさや面白さを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げる」である。身近なものを有名な美術作品や造形物に限定するのではなく、自分たちが今まで生活し、そしてこれからも生活を続けていく大岡小学校の建造物や風景などを自分が見て、「よく見ると、〇〇〇に見えて面白い」など、主体的に面白いと感じる物を見付けようとするにふれてほしい。また、そういった考えを友達と共有しながら、「どこが、どのように面白いのか」と、言葉を通じて自分の見方・考え方を深めていってほしい。様々な視点から対象をとらえ、自分が感じた「面白いもの」を形や色・イメージをもとに友達に説明することで、様々なものの見方や、それを通しての面白さやよさを全体で共有したいと考える。

本時では、みんなが撮った写真を見合うことを通して、普段何気なく見ているものでも、形や色を意識して視点や気持ちを変えて見てみると違って見える面白さをとらえ、それを伝えあうことで更なるよさや面白さを味わってほしい。また、図画工作科の学習の中でも伝え合ったり、話し合ったりする活動を取り入れながら、造形的な見方・考え方を広げていけるようにしていきたい。

〔本題材における〔共通事項〕についてのとらえ〕

- 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること。
- 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。

本題材では、大岡小学校で見られる身の回りの物の形や色、見え方の面白さやよさをとらえながら、切り取りたい場面の自分のイメージをもつようにする。またその際、「アップ」や「ルーズ」の視点、いつもと違う視点から対象をとらえたり、感じたイメージを友達と共有したりしながら学習を進めることを通して、より自分の伝えたいイメージを明確にもつようにする。

#### 4 テーマにせまるための手立て

研究主題	豊かな感性と生きる力をはぐくむ図画工作科の創造 ～感じる つくる 考える 子どもの姿を求めて～
部会テーマ	工夫して つくることを楽しむ子どもの姿を目指して

##### ○出あいの工夫

本題材では、写真を撮影する ipad との出あいが考えられる。まずは自分の思いが表せるように、しっかりと扱い方を指導する。そして自分たちが生活している大岡小学校で、視点を変えたり構図を工夫したりして、様々な見方で見つけた面白いものの写真を工夫して撮る。年間を通して子どもたちに伝えている、形や色から自分なりに感じるイメージを大切にしてくような姿が見られるようにしていきたい。

##### ○場の設定の工夫

自分が感じたことを素直に表現できるような温かい雰囲気をつくり、お互いの写真を見合うことができるようにする。また、学習中に「面白い」や「よさ」という抽象的な言葉が大切になってくるので、

こういったことを意識することが「面白い」や「よさ」をとらえた写真になっていくのかを、具体の写真や言葉で示し、それを掲示し、子どもたちの活動の目安になるようにする

○共感的支援の工夫

自分が感じた「面白い写真」というものは、人によって大きく感じ方が違う。まずは子どもたちの活動や撮ってきた写真を認め、それを丁寧に「どこがどう面白く感じたのか」ということを言葉にできるようにしたい。また、ただ面白い写真を撮るのではなく、そこには「形や色、イメージ」の自分なりのこだわりが表れるようにすることを大切にできるように支援していく。

5 題材の評価規準

造形への 関心・意欲・態度	○身近なところにあるものをカメラのフレームで切り取ることで、面白い見方に変え、写真を見て感じたことを話したり、友達の話を聞いたりするなどして、よさや面白さに気付こうとする。
鑑賞の能力	○形や色にこだわりをもって、自分の思いに合った写真を撮ることを通して、対象に対する視点を変えたり、他のものに見立てたりして、その連続性や規則性、意外性などの面白さを発見できたり、普段とは違った見方ができたりすることに気付いている。 ○大岡小学校の様々な場所を観察しながら見て回る活動を通して、造形的なよさや面白さなどについて、自分なりに感じ取り、考えたことを友達に伝えようとしている。

6 指導と評価の計画（3時間 本時3／3）

- ア 教師撮影の面白い写真を鑑賞する (15分)
- イ デジタルカメラ (ipad) の使用方法を確認する (15分)
- ウ グループごとに校内を回り、形や色の面白い物を見付け、撮影し、報告し合う (60分)
- エ 「ようこそ！大岡小おもしろ美術館」を開催する (45分)

時	学 習 活 動	評価規準	教 師 の 支 援
1	ア これがどこだかわかるかな？そしてどんな面白さがあるかな？		
	○教師が集めた大岡小学校の中のいろいろな写真を見て、学習に対する興味をもつ。 ○「面白い」と思うところについて話し合う。	関 ○身近なところにあるものをカメラのフレームで切り取ることで、面白い見方に変え、写真を見て感じたことを話したり、友達の話を聞いたりするなどして、よさや面白さに気付こうとする。	・教師が撮った大岡小学校内での形や色に着目した「面白い」写真を提示する。 ・あくまでも「形や色が面白い」写真を撮ることを伝える。 ・みんなの感じる「面白い」を掲示して、写真を撮る際の視点とする。

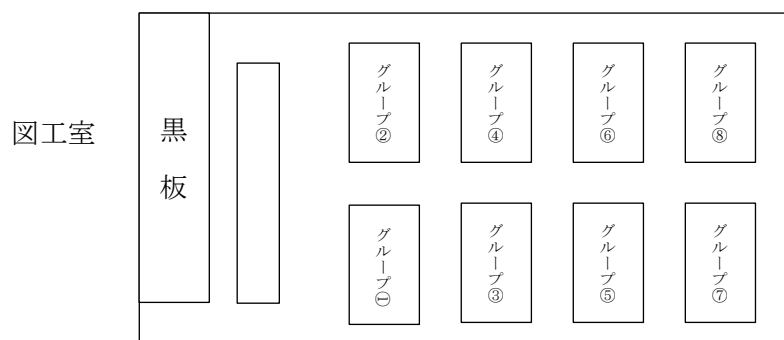
2	イ ipad の使い方を知り、撮ってみよう！		
	○ipad で写真を撮ってみよう。 ・ズームのやり方、削除の仕方		・ipad の基本的な使用方法を確認する。
3 本 時	ウ 形や色の面白い物を見付けて、写真に撮ろう！		
	○一人1台の ipad をもち、3・4 人のグループを作り、形や色の 面白いものを見つけ撮影する。  ○撮ってきた写真をグループで見 合いながら1枚に決める。	<b>鑑賞</b> 形や色にこだわりをもって、自 分の思いに合った写真を撮る ことを通して、対象に対する視 点を変えたり、他のものに見立 てたりして、その連続性や規則 性、意外性などの面白さを発見 できたり、普段とは違った見方 ができたりすることに気付い ている。	・回る際のルールを確認し、活動の様 子を巡回しながら見守る。 ・単に面白い写真を撮るのではなく、 形や色が面白い写真を工夫して撮 ることを伝える。
3 本 時	エ 「発見！大岡小おもしろ美術館」を開催しよう！		
	○自分の紹介したい写真について の説明を考える。  ○「ようこそ！大岡小おもしろ美 術館」を開催する。  ○活動を振り返る。	<b>鑑賞</b> 大岡小学校の様々な場所を観 察しながら見て回る活動を通 して、造形的なよさや面白さな どについて、自分なりに感じ取 り、考えたことを友達に伝えよ うとしている。	・形や色から感じるイメージを大切 にして、自分なりのこだわりの部 分を説明できるようにする。 ・クラスの半分を鑑賞、半分を説明の グループに分けて鑑賞し合う。

## 7 準備

児童 筆記用具等

教師 ipad

## 8 場の設定



9 本時の計画

(1) 目標

○大岡小学校にあるものの写真を見て、感じたことや思ったことを伝えあうことを通し、改めて感じる大岡小学校のよさや面白さに気付くとともに、鑑賞の対象となるものに対する見方や感じ方を広げることができるようにする。

(2) 展開

学 習 活 動	具体の評価規準	教師の支援
<p>○紹介する写真についてのよさや面白さを考え、伝える準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要ならばメモを取る。</li> </ul>		<p>○前時に撮った写真の中から選んだ1枚について、紹介したいポイントを伝えられるように声かけする。</p> <p>○形や色、イメージを意識した面白さを紹介するように再確認する。</p>
<p><b>「大岡小おもしろ美術館」を開いて、大岡小学校の面白いものについて感じたことや思ったことを紹介し合おう！</b></p>		
<p>○「大岡小おもしろ美術館」を鑑賞する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>第1部 A…鑑賞      B…紹介</p> <p>第2部 A…紹介      B…鑑賞</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ここどこだろう？面白い形だな」</li> <li>・「へえ、アップで見るとこんな形なんだ」</li> <li>・「この部分が、○○のように見えて、面白いと感じました」</li> </ul> <p>○活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「普段見慣れているものも、アップで見るととても面白く感じました」</li> <li>・「ただ面白い写真、というのではなく、形や色に着目すると、今までと違って楽しかったです」</li> <li>・「大岡小学校にはまだまだ自分の知らない面白いものがあることに気付きました」</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>鑑賞</b></p> <p>大岡小学校の様々な場所を写真に撮って紹介し合う活動を通して、造形的なよさや面白さなどについて、自分なりに感じ取り、考えたことを友達に伝えたり、友達の紹介を聞いたりしながら、よさや面白さにはいろいろな見方があることに気付いている。</p> <p style="text-align: center;">(活動の様子) (振り返り)</p>	<p>○鑑賞の仕方について伝える。</p> <p>○児童と共に回り、鑑賞している児童と紹介している児童に寄り添い声をかける。</p> <p>○自分が伝えたい思いが表現できるように、掲示物を生かしていくように声かけをする。</p> <p>○できるだけたくさんの友達の思いにふれることができるように声かけをする。</p> <p>○この学習を通じて、見方や考え方が変化したことなどが振り返られるように伝える。</p> <p>○大岡小学校にはまだまだ自分の知らない面白いものがあることに気付いている児童を称賛する。</p>

ようこそ

<資料>

# 大岡小おもしろ美術館

～自分が発見した大岡小学校のおもしろい形や色をカメラで撮ってしょうかいしよう～

組 名前〔 〕

○写真をしょうかいしよう！

おもしろポイント

説 明

○友達のを作品を鑑賞して

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

## 10 研究内容についてのふりかえり

### 1. 「学習の方向性」と〔共通事項〕を基にしたカリキュラムマネジメント

#### 【成果】

- 自分なりのこだわりを感じて撮った写真を紹介することにより、自分がどのように感じ、どこが面白いのかを自分の言葉で語る事ができた。
- 面白いポイントを視覚化し提示したことにより、子どもが自分の写真について語る時の一つの指針となり、自信をもって紹介することができた。
- 友達の撮った写真を鑑賞する時間をしっかりと確保することにより、紹介する子どもとの会話が自然と生まれ、温かい雰囲気の中で鑑賞を行うことができた。
- 「面白い」と感じるものやことが、人によって違い、なおかつそのポイントを聞くことによりいろいろなものの見方や感じ方を肌で感じる事ができた。
- 年度当初から「形・色・イメージ」というキーワードを伝えてきているので、写真を撮るときにも子どもたちは、「この形（色）おもしろい！」「○○○みたい！」という言葉が発せられていた。

#### 【課題】

- 「面白い」という言葉は、個人によってかなり違う捉えができる。身に付けさせたい力を教師がより明確にもち、そのポイントを子ども一人ひとりが自分なりにとらえないと、ただのおもしろ写真を撮り、それを見せ合うだけの時間になってしまう。
- 自分で撮った写真にタイトルを付ける作業を取り入れると、自分が面白いと感じたポイントがより明確に感じるのではないかと思った。

### 2. 子どもが主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり

#### 【成果】

- 一人1台 ipad を使用できたことにより、自分が感じ、見つけた「大岡小学校の面白いもの」に対して、すぐその場で撮り、確認できたことがよかった。自分で撮った写真にこだわりが生まれ、さらに面白い写真を撮ろうという意欲にもつながった。
- 自分の作品について発表するための原稿を書いたが、実際の発表の時にはその原稿を見ないようにしたことによって、何とか自分の言葉で、その時の様子や思いを伝え合う場面がたくさん見られた。

#### 【課題】

- 写真を撮る時間をもう少し確保してあげれば、より1枚の写真を選ぶ時にこだわりが生まれたのではないかと感じた。
- 言葉で説明することを苦手とする子どもに対しての支援。

わたしは、作品をかんしょうして、色いろおもしろい  
写真が見れてよかったです。わたしが一番い  
いな。と思ったのは、[ ]さんの作品です。  
理由は、どここの部分かは分らないけど、  
顔のように見えたからです。[ ]さんは、  
トランプをみたといっせていたけど、わたしは、  
口を開けた人みたいなと思いましたが、  
ほかにも、色いろは、作品が見られたので、  
よかったです!!

わたしは、友だちの作品を見てみて、ふだ  
ん気にしていなからたところや、毎日み  
いても気付いていなかたところをけん  
ないし、いいと、いまして。特に工夫して  
る人は、[ ]さんで、おもしろ  
スローのか、では、毎日ほとんど見ている  
と、丸の戸が目にみえたから、

私はみんなの作品をかん賞してみんなおもしろくて、私か  
みてない戸もみたことある物があって、おもしろかったです。  
とくに[ ]さんの作品がおもしろいと思いましたが、なせなら  
たいいく館のステージのホールにみんが、かきかきおもしろ  
所をつたえていたからです。自分の作品もゆりかべつたので  
よかったです

ぼくは、友達の作品をつたえ合、てみて、作品のお  
もしろポイントが、人によ、ちがいがいい、色んなポイントがあ  
るなと思いましたが、ぼくが気がな、てない所でも、  
他の人た、と、気にな、ていたので、ば、く、りしました。  
その人の作品で、何に、見えるか、聞かれました、自分  
とちが、う、か、た、か、ら、その見方もあ、る、た、な、と思いま  
した。

わたしは、友達の作品を鑑賞して、おもしろい作品  
が、いら、ま、い、あ、り、ま、し、た、さ、ら、に、自、分、が、い、つ、も、来、て、い  
る大岡小に、こ、人、な、に、あ、た、の、で、お、ど、ろ、き  
ま、し、た、友、達、の、作、品、を、一、番、印、象、に、の、こ、た、ど、ろ、こ  
は、[ ]さんだ、あ、[ ]さんの作品は、  
緑色の息、み、た、い、な、の、が、お、ど、ろ、り、つ、に、  
い、て、お、も、し、ろ、い、と、思、い、ま、し、た、

ぼくは、友だちの作品を見て、みんないろいろ  
か、た、え、あ、ま、り、気、に、し、な、い、戸、も、あ、ま、り、見、な、い  
と、ろ、の、写、真、を、た、く、さ、ん、と、い、た、の、で、お、も、し  
ろ、か、た、で、あ、ま、た、と、く、に、お、も、し、い、と、思、っ  
た、写、真、が、[ ]さんのと、も、つ、た、で、さ、た、で、  
した、の、と、ろ、の、し、れ、ん、で、す、な、せ、か、と、い、う、と  
れ、ん、ぞ、く、し、て、見、て、ま、し、に、お、も、ろ、る、か、ら、で、あ、